

平成 28 年 3 月 1 日

保護者の皆様

日進市立日進西中学校長 久保田 力

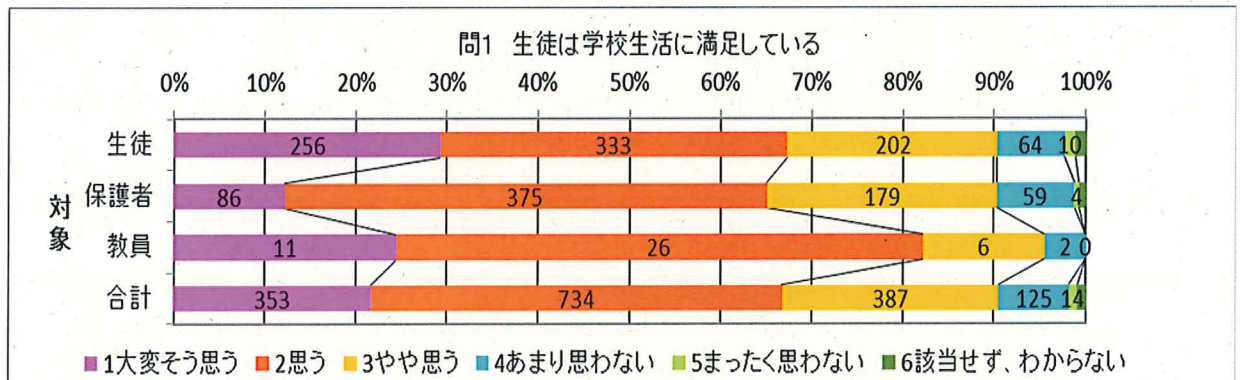
平成 27 年度学校診断アンケート

「より魅力ある日進西中学校にするために」の結果について

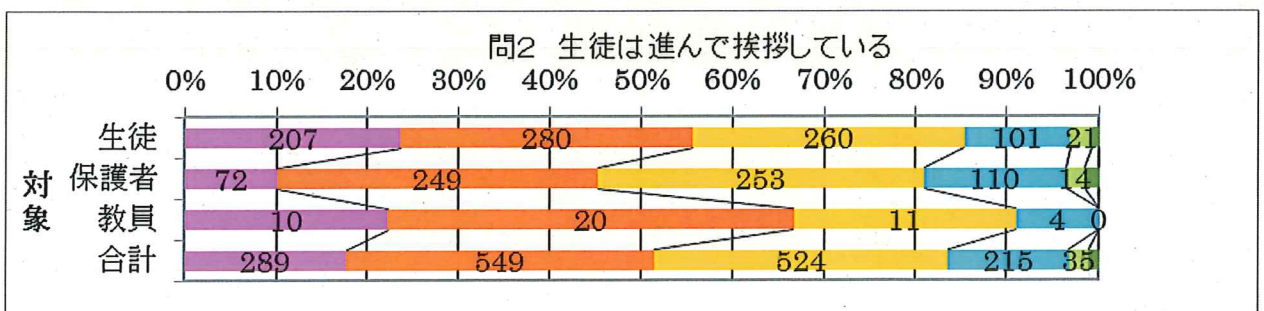
日頃は、本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

本校では、1月に、学校診断アンケート「より魅力ある日進西中学校にするために」を、生徒・保護者・教職員を対象に実施しました。回答数は、**生徒877名、保護者715名、教職員45名**でした。集計ができましたので、「割合グラフ」の提示と分析をお知らせいたします。この集計結果を受け止め、「より魅力ある学校づくり」を進めてまいります。ご協力ありがとうございました。

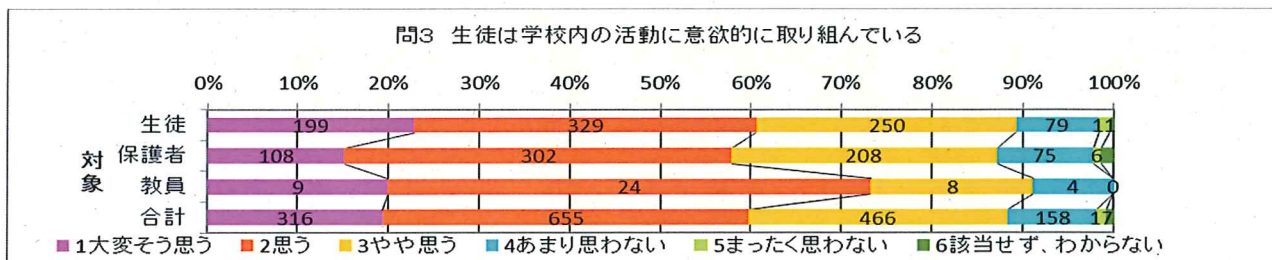
- ① グラフの中の「数字」は、人数を表しています。「%」は、生徒・保護者・教職員の各々に対する割合です。
- ② 「選択肢」については、保護者のものを掲載しています。生徒・教職員は、「1よくあてはまる 2あてはまる 3ややあてはまる 4あまりあてはまらない 5まったくあてはまらない 6該当せず」で答えています。



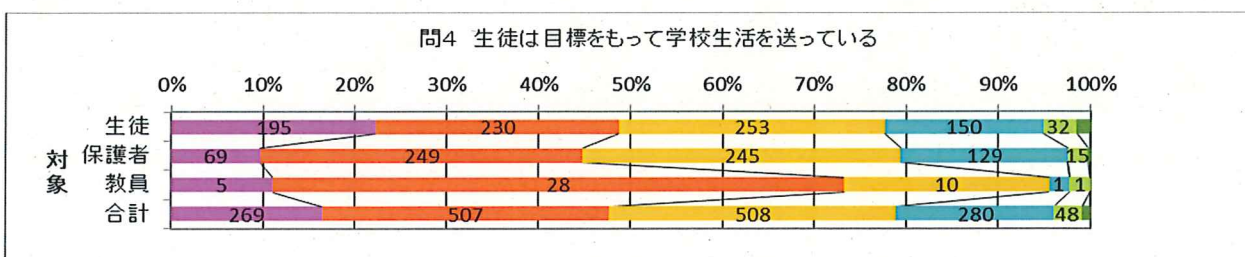
「学校生活満足度」は、「やや思う」までを合わせると、三者ともに90%を超え、高い割合にある。「生徒」の割合が、昨年度は90%に届いていなかったことを考えると、今年度は充実した学校生活を送れたと捉えたい。



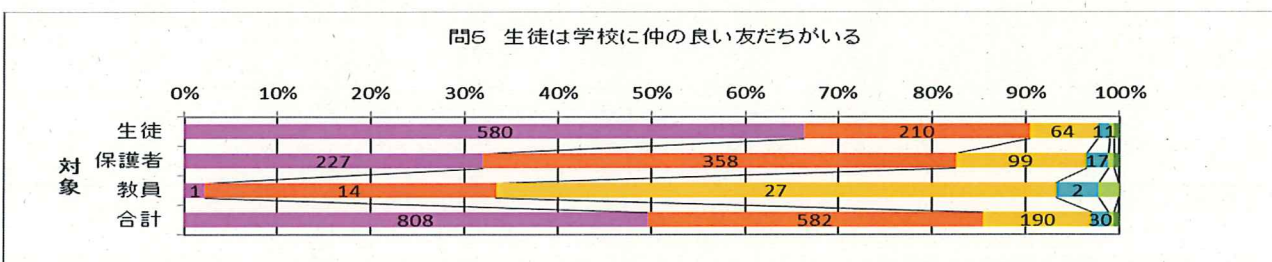
生徒・教職員の割合に比べて、保護者の割合が少し低いので、地域の中でも進んで挨拶ができるようにしていきたい。



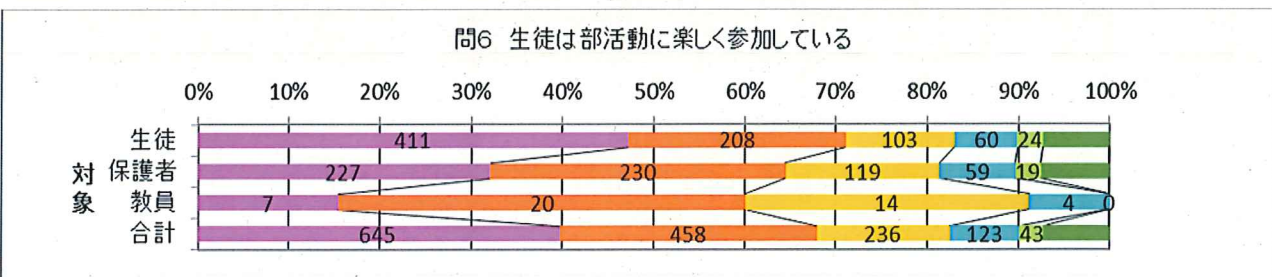
昨年度は、生徒の割合が低かったが、今年度は5%ほど増えた。意欲的に取り組める活動が設定できたと評価したい。



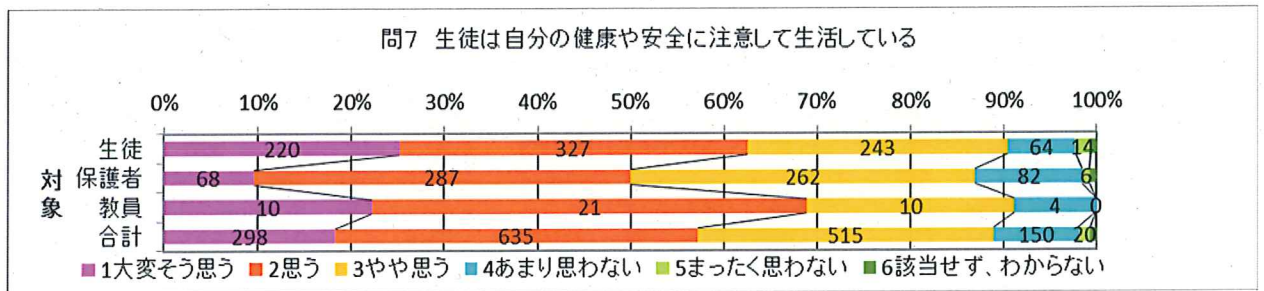
教員は目標をもたせて指導していると思っているが、生徒・保護者は、それほど意識しているわけではない。目標を明確にして、学校生活を送れるように対処していきたい。



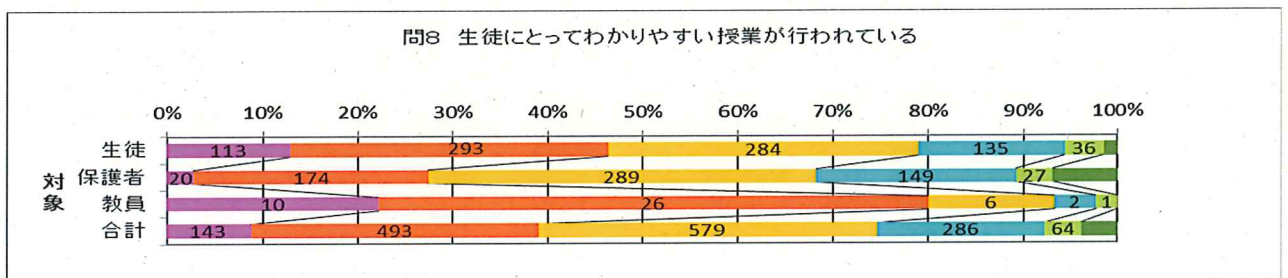
生徒は、「仲の良い友達がいる」と65%以上が「大変そう思う」と回答している。しかし、保護者・教員は、「大変そう思う」の回答が低めである。今後は、携帯電話・スマートフォン等の機器を通じて生徒が構築している「ネット上での目に見えない仲の良い友達関係」を、保護者・教員が把握をすることが肝要と思われる。さらに、95%以上が「やや思う」の回答の中で、孤立している生徒がいないかにも目を向けていきたい。



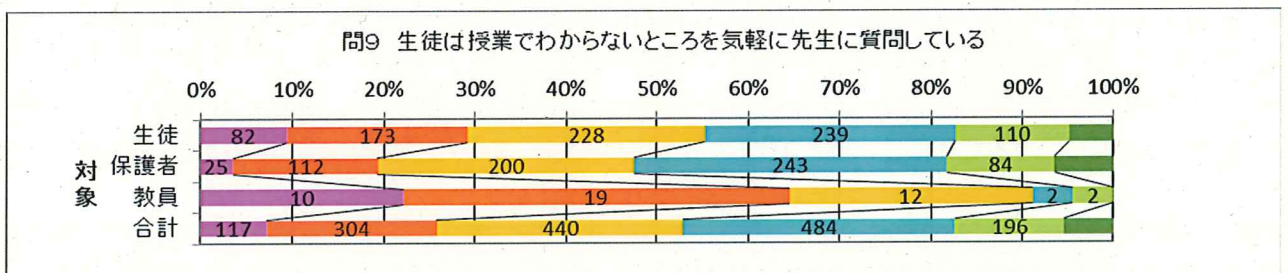
生徒の「やや思う」までの合計は、昨年度より5%増加している。部活動に楽しく参加し、適応している生徒が増えてきているように思えるが、過熱しすぎた指導にならないように配慮していきたい。



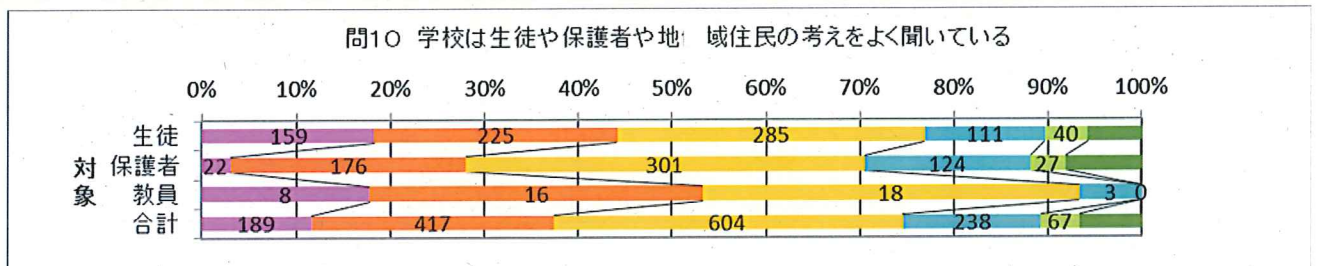
「健康や安全面」への生徒・教員の意識は高い。生徒数の多さも含めて、校内・通学路での事故、感染症やアレルギー対応など、「健康・安全面」に配慮していきたい。



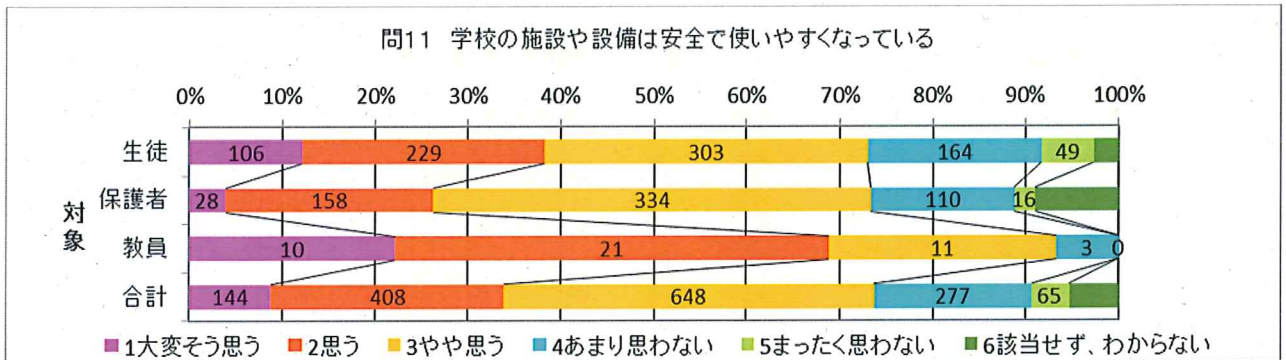
教員は、「わかりやすい授業を行っている」という意識（やや思う）が90%を超えているが、生徒・保護者の割合は低い。すべての生徒にとって「わかりやすい授業」となるように、教材研究に力を入れ、まだまだ工夫をしていくことが必要である。



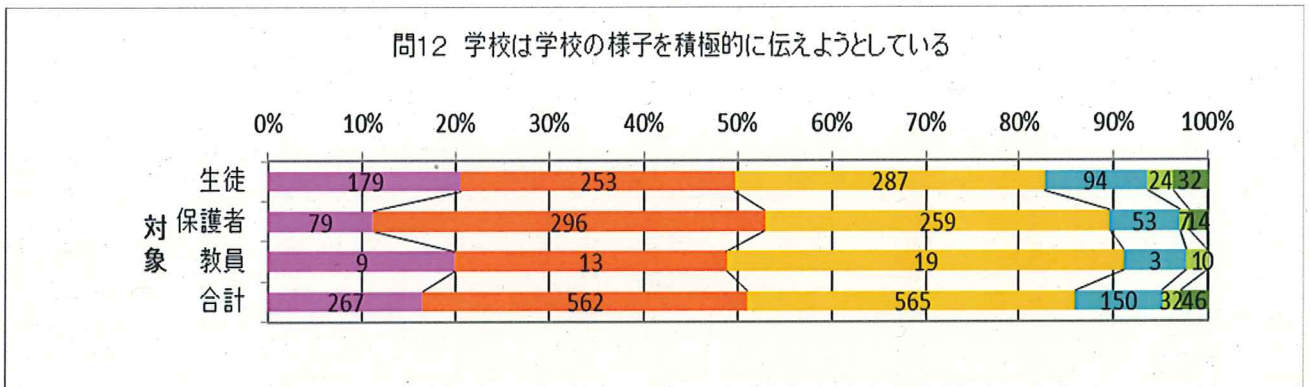
「授業でわからないところを気軽に質問すること」も、生徒にとっては難しいようである。今年度は、テスト週間に「テスト前質問大作戦」の日を設定し、「放課後」に、気軽に疑問点を質問できるような取組を始めた。数多くの生徒が残って質問するようになってきたので、開催日を伸ばしたり、担当者の人数を増やしたりして浸透させていきたいと考えている。



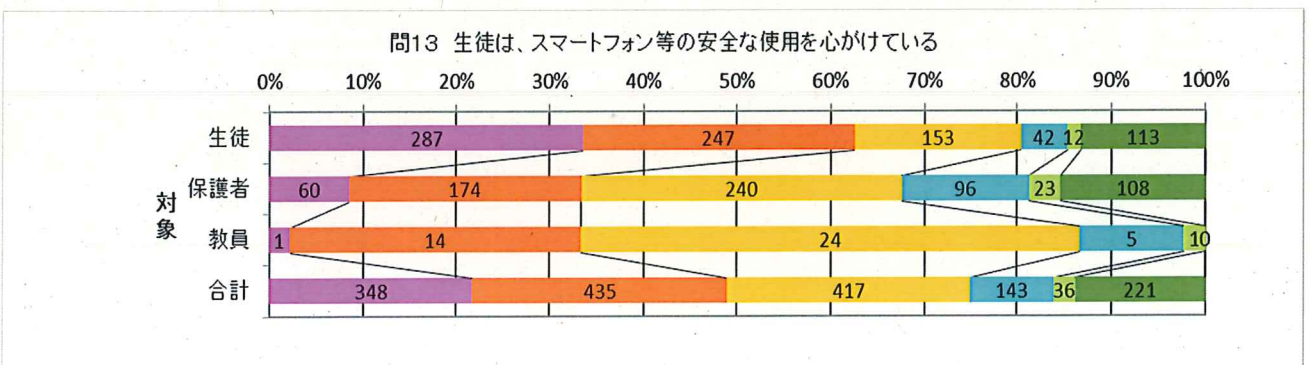
教員は90%以上が「考えをよく聞いている」と思っているが、生徒・保護者の割合はそれほど高くない。改めて耳を傾け、保護者・地域の考えを真摯に受け止めていきたい。



開校 38 年目となり、施設・設備の老朽化が目立ってきた。教員は、生徒の安全面に配慮しつつ、学校生活の中で留意している。今後、修繕することを要望しながら、さらに、安全な使い方を工夫していきたい。



今年度、「日進西中学校のホームページ」の運用に力を注いだ。授業日は毎日更新し、生徒の学校生活での様子を地域・家庭に発信した。「学校便り、学年便り」等の月例の紙媒体も、生徒の感想・写真を多く載せ、生き生きとした様子が伝わるように心がけた。



今年度も、「携帯電話やスマートフォン等の安全な使用のお願い」という文書を、夏季休業前に全校生徒に配布した。生徒の 80%以上が、安全な使用を心がけているようである。しかし、個人が特定できてしまう画像をアップしたり、誹謗・中傷と感じられる内容を掲示板に載せたりというトラブルが起きたこともあった。家庭・学校・地域で、生徒が正しく携帯電話やスマートフォン等を使えるように、さらに啓発を進めていきたい。